



人権=心のマーク

人権啓発紙

輝きびと

R4.3.15

No. 115

発行者 ● 大津市政調整部
人権・男女共同参画課
TEL 528-2791・FAX 527-6288

第45回

わたしと人権

～入賞者決まる～

「人権を守る大津市民の会」では、すべての人がこの大津に住んで良かったと思えるようにという願いと期待を込め、「人権」に視点を当てた活動を続けています。

このたび第45回「わたしと人権」作品の募集を行い、園児から一般の方々まで幅広い市民のみなさんのご応募をいただきました。

今号は、これらの特別賞の作品を一部ご紹介いたします。それぞれに記された貴重な体験や思い、願いから、自分や他人の人権について考えてみるきっかけづくりになれば幸いです。

ポスターの部 特別賞



* ほのぼの賞

大津幼稚園 5歳児 池田 瑛真さん



* ふれあい賞

滋賀大学教育学部附属小学校 6年 柴田 桃花さん



* すこやか賞

石山幼稚園 4歳児 四柳 摘さん



* さわやか賞

瀬田小学校 2年 合掌 湊さん



* ときめき賞

中央小学校 3年 笠川 和奏さん



ほのぼの賞

富士見小学校 6年 徳谷 春さん

コロナでも 心の距離は 近いまま

すこやか賞

中央小学校 2年 杉山 七海さん

コロナでも がんばるえがお ちからだよ

ふれあい賞

仰木中学校 3年 田中 耀さん

守るべき 互いの気持ち 大切に

ときめき賞

和邇小学校 4年 北村 衣鞠さん

いっしょにいこう そんな言葉で 安心する

さわやか賞

北大路中学校 3年 古高 麗さん

きっとある 愛と勇気の 二刀流

作文の部 特別賞

ほのぼの賞

友だちのじよぼ

南郷小学校 2年 佐々木唯南さん

わたしは、一年生のころからじよぼができませんでした。がんばってれんしゅうしましたが、体いんで四だんがでてくると、とべる子はいつぱいいるのに、わたしはとべませんでした。なぜかこわくなりました。みんなのを見てやりましたが、とべなかつたです。くやじい気もちが心の中じよぼいでした。もつとれんしゅうしないといけないという気もちもいつぱいありました。すると、わたしの目からちよつとだけなみだがでてきたのです。そしたら、友だちが

「大じよぶだよ。おしえてあげる。」

とじよつてくれたのです。わたしはその子のことばにちよつとじよぶつぎがでてきたのです。わたしはその子「

「ありがとう。」

と言いました。そのあと、友だちは

「じよかりと手をひらいておくのほうに手をおくのだよ。」

と、おしえてくれました。

一年生になってその子とはクラスがはなれましたが、その子とはわすれていません。もちろんその子のことばもわすれていません。きのうは二年生になってはじめてのじよぼが、でてきました。ちよつときんちよつしました。ドキドキしましたが、友だちが、言っていたことをおもいうかべて、じよかりとやりました。そしたら、はじ

めてとびぼがとべました。わたしはびっくりしました。おしりをつかずにおもいつきりできました。すると、一年生のときに同じクラスだった子が、うれいじよを言つてくれました。それは

「じよつすにできたね。」

とじよつてくれた。今では五だんがとべます。

友だちのことばは、とてもうれしかったのでとてもかんしゃしています。じよつ

はわすれたくありません。にが手に思っている人がいたら、じよぼは、わたしがおしえるばんです。



ときめき賞

学校のヒーローたち

瀬田北小学校 5年 福田茉央さん

キーンコーンカーンコーン。今日も学校での一日が始まる。「おはよう。」今日もしやべりかけてくれる友だち。いろんな人たちがいる。毎日すべに来てくれたり、「遊ぼう。」とじよつてくれたりする。今日の授業は、私が好きな算数だ。難しい問題を解くのが好きだ。わからない時があれば「教えて。」というと教えてくれる。解き終わったら「まっている人といっしょに問題を解く。それがとても楽しい。」

キーンコーンカーンコーン。あ、中休みだ。中休みは絶対、おじよつこをする。みんなは返事をしてくれる。その事がうれしい。あ、もうこんな時間だ。いそいで帰ろう。

次は、国語だ。話し合いをするのかな。

いつも話し合いをするときに中心になってくれている人たちがいる。その中に私もはいつている。

その中の一人は前に出て発表してくれている。話し合つて楽しいな。なぜならいつもねている人も話し合いの時だけはきちんと起きているからだ。キーンコーンカーンコーン。これで二日の授業が終わった。いつも授業が終わった時に思う。学校にはいろんなヒーローがいてなりたつているのだと。これだけの人しかしょうかいできていないけどたくさんヒーローがいる。そのヒーローたちは、十人十色だ。私もこのヒーローの中にいる。私はみんなにとつてどんなヒーローなんだろうか。



さわやか賞

SNSでの人権

打出中学校 2年 渡邊莉梨さん

私は先日祖母にすすめられて、「竜とそばかすの姫」の映画を観に行きました。祖母曰く、「現代の子にはぴつたりの話だよ。」という事です。それを聞いた私は最初、SNSの危険なところや悪いところを次から次へと伝える典型的なものだと思いましたが、その映画はSNSのいい面も悪い面も全てを伝えるというものでした。

その映画を観て、私はSNSは危険なことばかりではないということを知りました。確かに二歩間違えれば社会問題です。ですがSNSは人々に勇気を与えることもできます。世界中の色々な人たちと励まし合えるのです。例えばどこかの国で地震が起きた時、SNSでできた温かなつながりが被災地を救ってくれます。絶望の中にいて

も世界中の人たちが応援してくれていると思うと、きつと涙がでてくるはず。こうして一体感というものが生まれます。ですがその一体感が仇となることもあります。そう、誹謗中傷などです。SNSでは匿名なのでそれぞれが自分の価値観や正義感を押しつけがちです。そこに一体感が生まれてくるとそれは立派な人権侵害となりま。人間は一人なら強く言えなくても、二人以上いれば言いたい放題言つことができてしまいます。私自身もそうです。ですが、一人ひとりがそういう考えで動き、自分の価値観や正義感を押しつけて良いのでしょうか。そうしなければたくさんの方が傷つき、そして次第に自分自身も傷つけることになってしまいます。そうならないためにも自分の人権を大切にすることが同じように、他の人の人権も大切にすることが必要です。使い方さえ間違わなければ、SNSはきつと良いものになっていくのではないかと思います。

現代社会に生きる私たちにはスマホは必要不可欠です。だからこそインターネット、SNSなどという画面の中にも人権が存在していると思うのです。私はSNSは使つてはいけない危険なものだとは思いません。むしろ人を元気づけてくれる温かいものだと思うのです。大人は私たちにSNSは危険なものだということばかり言います。それは私たちもよく知っています。その上でSNSの素晴らしさも伝えてほしいのです。



紙面スペースの都合により、全ての作文の部・特別賞作品を掲載することができません。作文の部・特別賞を受賞された方で作品未掲載は、次の方々です。

*すこやか賞

言葉のナイフ

堅田中学校 3年 木下 空翔さん

*ふれあい賞

大切な人を守るためにできること

瀬田東小学校 5年 飯田 奈央さん



*ほのぼの賞

「ごめんなさい

滋賀大学教育学部附属小学校 2年 石井 功将さん

ともだちイライラさせちゃった

そついつときは

「ごめんなさい」

ともだちえがおになっちゃった

ともだちがぶつかってきた

そして

「ごめんなさい」

といわれた

ほくもえがおになっちゃった



*すこやか賞

みんなちがういいところ

瀬田東小学校 3年 須田 絢音さん

はしりがおそくていいじゃない
せがちいさくてもいいじゃない
みんなちがういいじゃない
なかまはずれになんかしないよね

運動ができなくてもいいじゃない
すきなものも同じじゃなくてもいいじゃない
その人しかないさいのうだつてあるでしょ
みんな友だちを大切に
みんな自分を大切に

*ふれあい賞

私とあなたの気持ちって

仰木の里小学校 5年 村田 ひよりさん

人の心は分からない

知りたいのになあ

あの人の心の中が分かれば

もつと仲良くなれるのになあ

でもある日

私は気付いた

あの人も

同じことを考えているのかも

人の心の中が分からなくても

とにかく

話しかけてみよう

もしかしたら

あの人の心が

少し分かるかもしれない

***ときめき賞**

輝き

小野小学校 6年 西村勝輝さん

だれかのために行動したとき
その人は輝いている
行動すればするほど
輝きはまじていく
人を思いやったとき
その人は輝いている
どんな人でも輝けて
簡単なことで輝けて
自分の思いだけで
輝きはまじていく

***さわやか賞**

救ってくれた君へ

志賀小学校 5年 宮崎 ゆかりさん

自分は絶対ひとりぼっちじゃない
笑顔ですくわれる
勇気ですくわれる
手紙ですくわれる
仲間ですくわれる
正義ですくわれる
救われると
ホッとする

自分は絶対ひとりぼっちじゃない
笑顔ですくう
勇気ですくう
手紙ですくう
仲間ですくう
正義ですくう
救ってあげると
ホッとする

その他の部 特別賞

”その他の部は、人権についての自分の
考えや学級など集団の思いが作文・詩・
標語・ポスターの4部門以外の方法で表
現された作品部門です。”

***ほのぼの賞**

葛川小学校 共同作品 チームいきものさん



***すこやか賞** 上田上小学校 共同作品 1年A組さん

あとがき

今回、特集した「わたしと人権」作品には、日常生活
中での人との触れ合いを通じて感じたこと、社会の問題
に対する自分の考えや豊かな人間関係を築いていこうと
するメッセージなど人権についての作者の各々の思いが
つまっています。

今号の作品をご覧いただくことで、市民の皆さん一人
ひとりが人権を尊重することの大切さについて、今一度
振り返っていただく機会になりましたら幸いです。

ご意見やご感想は

〒520-0047 天津市浜大津四丁目1-11 明日都浜大津1階
大津市政策調整部人権・男女共同参画課

(☎528-2791)まで

※人権を守る大津市民の会は、現在、地域、職域を合わせて23団体が結集する市民団体です。
駅頭・街頭啓発をはじめ人権作品の募集や入賞作品展の開催など、幅広い啓発活動を市民
ぐるみで展開しています。